



文化庁委託事業「令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業」
日本フィルハーモニー交響楽団 東北の夢プロジェクト2022

人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。
JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
創立指揮者 渡邊 暁雄

楽しい
樂しい

オーケストラ in 岩手

オーケストラと子どもたちの夢舞台



第1部



オーケストラ

- ◆ ベートーヴェン 交響曲第5番《運命》より第1楽章
- ◆ J.S.バッハ G線上のアリア
- ◆ ロッシーニ 《ウィリアム・テル》序曲より「スイス軍の行進」



第2部



出演

魔法のピアノ

- ◆ ベートーヴェン エリーゼのために
- ◆ ショパン 小犬のワルツ
- ◆ チャイコフスキイ ピアノ協奏曲第1番より第1楽章 ほか

2022年8月12日金 午後3時開演
[午後2時15分開場]
岩手県民会館大ホール

指揮: 永峰 大輔

お話とうた: 江原 陽子

ピアノ: 上原 彩子 (第2部)

管弦楽:

日本フィルハーモニー交響楽団

第3部



ゲストコーナー

- ◆ 黒沢尻北小学校合唱部 (北上市)
- ◆ 山田境田虎舞保存会 (山田町)

第4部



みんなで楽しく体を動かそう!

- ◆ 「鬼滅の刃」より《紅蓮華》～《炎》
- ◆ たなばたさま
- ◆ 勇気100%



料金 [全席指定・消費税込]

大人:3,000円 子供:1,500円 (子供=4歳～高校生)

*4歳未満は入場できません。チケットはお一人一枚ご用意ください。

*出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

◆主催: 文化庁/公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

◆共催: 岩手県/岩手日報社/IBC岩手放送/(一社)岩手県芸術文化協会

◆後援: 復興庁/(公財)岩手県文化振興事業団/岩手県教育委員会

◆特別協賛: 全国保証株式会社

◆協力: 株式会社岩手銀行/岩手県合唱連盟
(一社)こどものための音環境デザイン/杉並区



◆プレイガイド

6月23日㈭
発売

・岩手県民会館

・ローソンチケット
<http://l-tike.com> (Lコード: 22096)

・日本フィルeチケット♪

[席を選んでお申込みできます]
www.japanphil.or.jp

・岩手日報社事業部

・カワトク、アネックスカワトク、フェザン

お問い合わせ

岩手日報社事業部 019-653-4121
(平日 9:00～17:00)

新型コロナウイルス感染症対策への
ご理解とご協力のお願い

感染症対策を施し、政府や自治体等の
ガイドラインに従って販売いたします。
こちらのQRコードから「新型コロナウ
イルス感染症対策へのご理解とご協力
のお願い」を必ずお読み下さい。



楽しいオーケストラ in 岩手

東北の子どもたちの「夢」を応援

10年以上にわたり被災地に音楽を届け続けてきた日本フィルと、
東北地方で続く郷土芸能や子どもたちの文化活動がひとつのステージに！
オーケストラとピアノが織りなす豊かな音色、子どもたちの真剣な眼差し、
そしてみんなの笑顔が輝く夏の“夢舞台”にどうぞご期待ください。



《指揮》 永峰 大輔 NAGAMINE Daisuke

1977年千葉県生まれ。同志社大学法学部を経て、洗足学園音楽大学附属指揮研究所で学ぶ。2002年ドイツ・グラーフスヴァルトでノルディッシャー・クラン音楽祭に出演。2008年ブラジル・フォルタレーザでエレアザール・デ・カルヴァリョ音楽祭に招かれ、日伯移民100周年を記念する演奏会を指揮。2012年神奈川フィルハーモニー管弦楽団副指揮者、2015年NHK交響楽団にて、首席指揮者パーソナル・ヤルヴィのアシスタントを務めた。最近ではピエタリ・インキネンの代役として、日本フィルハーモニー交響楽団「第364回横浜定期演奏会<秋季>」や「第47回九州公演 日本フィル in Kyusyu 2022」に客演し「打楽器や管楽器を思い切り響かせるパワーで無事にツアーを繋いだ。」(モーストリークラシックより)さらに2021年から2022年にかけて「ディズニー・オン・クラシック」の客演指揮者として、全国主要都市をまわる三度のツアーに参加、成功に導いている。これまでに、2011年ニコライ・バセーリビッチ賞(ウクライナ)、2014年第5回ICW国際指揮コンクール最優秀指揮者(アトランタ)などを受賞している。

《お話をうた》 江原 陽子 EBARA Yoko

東京藝術大学声楽科卒業。4歳より公益財団法人ソルフェージスクールにてピアノを始め、ソルフェージ、作曲、室内樂等音楽の基礎を同校で学ぶ。大学在学中より4年間、NHK『うたって・ゴー』に歌のおねえさんとしてレギュラー出演。1991年より日本フィルハーモニー交響楽団「夏休みコンサート」に歌と司会で出演する他、東京都響、東京シティ・フィル、仙台フィル、九響等の音楽鑑賞教室やコンサートの司会を務める等、クラシックコンサートのナビゲーターとしても活躍している。親子で穏やかなひとときをと、絵本読み聞かせコンサートも各地で開催。洗足学園音楽大学教授／(公財)ソルフェージスクール講師



《ソリスト(ピアノ)》 上原 彩子 UEHARA Ayako

第12回チャイコフスキイ国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外での演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイージ、ラザレフ、プラビンス、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親、各氏等の指揮のもと、国内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共に演奏し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売された他、キングレコードより『上原彩子のくるみ割り人形』『ラフマニノフ13の前奏曲』『上原彩子のモーツアルト&チャイコフスキイ』『デビュー 20周年記念コンサート・ライヴ盤』がリリースされている。東京藝術大学音楽学部早期教育リサーチセンター准教授。

<オフィシャル・ホームページ：<https://www.japanarts.co.jp/artist/AyakoUEHARA>>

《ゲスト》 黒沢尻北小学校合唱部(北上市)

山田境田虎舞保存会(山田町)



日本フィルハーモニー交響楽団 Japan Philharmonic Orchestra

1956年6月創立。渡邊曉雄が初代常任指揮者を務めた。2021年に創立65周年を迎える、「オーケストラ・コンサート」「リージョナル・アクティビティ」「エデュケーション・プログラム」という三つの柱で活動を行っている。首席指揮者ピエタリ・インキネン、桂冠指揮者兼芸術顧問アレクサンドル・ラザレフ、桂冠名誉指揮者小林研一郎、正指揮者山田和樹という充実した指揮者陣を中心に演奏会を行い、“音楽を通して文化を発信”している。2011年4月より「被災地に音楽を」の活動を開始。2022年4月末までに307回を数え、現在も継続中。40年を超えて続く九州全7県での九州公演、親子コンサート(夏休みコンサート)など音楽の持つ様々な力を社会に活かしていくことを目指している。
オフィシャル・ウェブサイト <https://www.japanphil.or.jp>

